

# 大谷學報

第二十二卷 第二號

昭和十六年六月二十五日發行

スピノーザに於ける人間精神の永遠性に就いて

立花 勝(一)

眞宗教團の基調についての一考察 可西大秀(二五)

ホヤットマンとニュー・オーリアンズ

萬造寺 齊(六)

新韻集について 龜田次郎(咒)

梵藏所傳の 俱舍論の註釋的研究(世間品)下  
資料よりする

——特に玄奘譯の本文批判を中心として——

舟橋 一哉(三)

唯識宗に於ける見道斷惑 富貴原章信(〇一)

新刊紹介(二六)研究室彙報(三三)昭和十六年度學部開講學科  
目及講義題目(三三)昭和十五年度卒業生氏名及卒業論文題  
目(二六)交換寄贈圖書雜誌目錄(二六)

大谷大學

大谷學會

前 號 要 目

第二十二卷  
第一一號

次 號 豫 告

第二十二卷  
第三號

眞宗に於ける厭穢忻淨の心

大須賀秀道

唯識教學に於ける未那識の特性

山田亮賢

平安朝に於ける往生信仰の諸相

——「往生傳」を主とする考察——

自見直

僧都禪瑜とその淨土教思想(下)

——新出「新十疑論」の紹介——

戸松憲千代

無着造「解深密經疏」(二)

西尾京雄譯註

故寺本婉雅先生と西藏學

山口益

松原先生のことゝも

河野雲集

横川君を憶ふ

福井元澄

聖德太子と親鸞聖人との内的交渉

——特に『三經義疏』に於いて——

安井廣度

題 未 定

阿部現亮

宗教生活の理念

稻葉秀賢

市民性について

外村完二

——ハツセとマンの場合——

「二稅戶」攷

野上俊靜

我國に於ける祈願思想の展開

藤島達朗

題 未 定

野澤靜證

無着造「解深密經疏」(三)

西尾京雄

# 大谷學會々則拔萃

## 第一條

本會ヲ大谷學會ト稱シ、事務所ヲ大谷大學内ニ置ク。

## 第二條

本會ハ佛敎學、哲學、史學、及ビ文學ニ關スル諸般ノ研究ヲナスヲ以テ目的トス。

## 第三條

本會ノ會員ハ大谷大學敎職員、學生及ビ本會ノ趣旨ニ賛同スル者ヲ以テ組織ス

## 第四條

本會ハ左ノ事業ヲ行フ。

一、年四回雜誌『大谷學報』ヲ發行シ之ヲ會員ニ頒ツ。

二、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク。

三、隨時圖書ヲ出版ス。

## 第五條

本會ニ左ノ役員ヲ置ク。

一、會長 一名

二、理事 二名

三、委員 若干名

## 第九條

會員ハ會費トシテ年額金參圓ヲ納ムベキモノトス。

# 大谷學會役員

## 會長

大須賀秀道

## 理事

朽木廣覺

## 庶務委員

多屋頤俊

## 編纂委員

安井廣度

鈴木弘

萬造寺齊

桑谷觀宇

野上俊靜

吉田嘉一郎

稻葉秀賢

佐々木近衛

可西大秀

阿部現亮

大友芳雄

山田亮賢

藤島達朗

山口益

德重淺吉

道端良秀

正木淨教

佐々木近衛

# 大谷學報

行發回四年

月十・月七・月四・月一

會費

年額

金參圓  
(但前金送料共)

一部賣

普通號

金八十錢  
(送料六錢)

定價

特輯號

隨宜申シ受ク  
(送料六錢)

昭和十六年六月二十日印刷  
昭和十六年六月二十五日發行

(第二十二卷・第二號)

編輯者

大谷學會

右代表者

青山綱

印刷者

須磨勘兵衛

印刷所

大谷大學出版部

京都市北小路通新町西入

發行所  
京都市烏丸頭  
大谷大學内

大谷學會庶務部

電話西陣一六四〇番  
振替大阪六七一八五番

載轉禁製複許不